

総務省 戦略的情報通信研究開発推進事業 SCOPE
「異能(Inno)vation」プログラム

ジェネレーションアワード部門

「ちょっとした、けれども誰も思いついたことのないような面白いアイデア」
「自分でも一番良い使い方が分からないけれど、こだわりの尖った技術」
「自らが発見した実現したい課題」等を募集。
『異能ジェネレーションアワード』として表彰します。

企業と組んで実現を目指そう。

平成29年度 募集要項

業務実施機関 (株) 角川アスキー総合研究所
協力協賛企業各社

1 背景と目的

情報通信審議会諮問「イノベーション創出実現に向けた情報通信技術政策の在り方」（中間答申：平成25年7月5日 最終答申：平成26年6月27日）において、『既存の常識に縛られない独創的な「変わった事を考える人材」、「変わった事をする人材」など、独創的な人材を積極的に活かしていく仕組みが重要である』と提言されました。これを踏まえ、総務省では、平成26年度より、『異能(Inno)vation』プログラムを推進し、独創的な技術課題の発掘に取り組んできたところです。

現在、政府においては、新しいアイデアに基づく研究を奨励するアワード方式の導入など、チャレンジングな研究開発の支援方策の検討なども進められています。これから本格的なIoT / BD / AI時代を迎えると、人工知能でもできる「問題を解く力」よりも「これまでにない（＝人工知能には予想もつかない）課題を発見し未来を拓く力」がより一層求められていくことと考えられます。

異能(Inno)vationプログラムでは、こうした状況を踏まえ、異能(Inno)vation協力協賛企業との連携により、

- ① ちょっとした、けれども誰も思いついたことのないような面白いアイデア
- ② 自分でも一番良い使い方が分からないけれど、こだわりの尖った技術
- ③ 自らが発見した実現したい課題

等を募集する「ジェネレーションアワード部門」を本年度より新設し、「異能ジェネレーションアワード」として表彰します。さらに、これらのアイデア・技術・課題について企業と組んで実現を目指す機会を設けます。全国津々浦々、あらゆる年代からの応募をお待ちしております。

2 募集対象

(1) 応募課題

ICT*分野における以下の項目等を募集する。

※ ICTとはInformation and Communication Technology（インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー）の略で、日本語では「情報通信技術」という意味で使われる。

- ・ ちょっとした、けれども誰も思いついたことのないような面白いアイデア
- ・ 自分でも一番良い使い方が分からないけれど、こだわりの尖った技術
- ・ 自らが発見した実現したい課題

等

※ あなたの日ごろのちょっとしたアイデアも、こだわりの技術も、思いもよらないような使い方をしてくれる人や企業が出現することにより、世界を変える一歩を生むかもしれません。

(2) 応募資格

- ・ 日本国籍を持つ者（居住地問わず）または終了まで日本国内で技術開発を実施することが可能な者（国籍問わず）。

- ・ 年齢不問。

(3) 応募形態

- ・ 個人応募可能。グループ応募可能。
グループで応募する場合、グループ代表者がグループ全員から応募に必要な同意をすべて得ること。
- ・ 自薦と他薦
自薦：個人もしくはグループの自らの応募
他薦：応援したい個人もしくはグループを推薦。なお、他薦の場合、被推薦者の現在の連絡先を業務実施機関に知らせることができること。本プログラムへの推薦に際し、被推薦者に推薦した事実を知らせないこと。
※ 「自分には理解できないアイデアを持っている方を知っている」や「応援したくなる技術をコツコツと努力している方が身近に居る」「あの人が取り組んでいるこれを実現してはどうか」という場合は他薦をしてください。「うちの子供（もしくは生徒・社員・親・先生・先輩・後輩）はこんなに変わっていて、意味は理解できないがすごいことに没頭している」場合など、家族や教員や上司や部下などからの推薦を推奨します。

3 アワード

以下の分野それぞれに対して「異能ジェネレーションアワード」の募集を行う。また、異能 vation 協力協賛企業が特に支援したいと思う課題などについては企業特別賞が設けられることがある。なお、審査の結果、分野などに対象がない場合はアワードを設定しない。

募集分野例：ICTに関わる以下の分野

①情報通信 ②宇宙 ③医療 ④教育 ⑤農業・漁業・林業などの第一次産業と流通 ⑥セキュリティ ⑦センシング・データ ⑧電波とその有効利用 ⑨映像・音声 ⑩バイオテクノロジー ⑪防災 ⑫流通 ⑬ロボット・AI（人工知能） ⑭IoT(Internet of Things) ⑮アプリ ⑯その他業務実施機関が思い付きもしない分野。

各分野における表彰が行われる。協力協賛企業各社より副賞（20万円）および企業特別賞（未定）などを提供。

4 協力協賛企業とのマッチング

協力協賛企業はアワード審査中にマッチングしたい提案を発掘した場合、審査終了後にその希望を業務実施機関に伝える。その後、業務実施機関から応募者へ連絡を行い、応募者が希望する場合、企業と応募者とのマッチングが成立する。

- ※ 業務実施機関は応募者の許可なく個人情報の展開は行いません。
- ※ 応募者は協力協賛企業に対し本プログラムを通じて直接的、間接的（業務実施機関を通じてなど）に交渉することはできません。
- ※ 業務実施機関はマッチングの機会を設定しますが、その後は干渉を致しませんので、ご本人と企業とで進めることができます。

5 申請受付期間

平成29年5月22日(月) 11:00～平成29年6月30日(金) 18:00

6 申請手続

「異能(Inno)vation」公式サイト上の電子申請システムにて申請受付。

<http://www.inno.go.jp/award>

- ・ 追加資料や試作品などは、公式サイト電子申請システムにおける資料添付提出もしくは、業務実施機関への郵送にて受付。なお、業務実施機関への手渡しは受け付けない。
 - ※ 郵送物は締切当日消印、当日宅配便受付日付を有効とします。なお、提出いただいた書類等は原則として返却いたしませんので予めご了承ください。

7 応募について

(1) 自薦

「ジェネレーションアワード部門」の自薦受付のフォームでは主に以下を受付します。

- ・ 個人情報の入力
- ・ 募集分野の選択
- ・ 提案タイトルの入力（50文字以内）
- ・ 概要の入力（600文字以内）
- ・ その他追加資料（.txt .doc .docx .pdf .xls .xlsx .gif .jpg .png形式）も添付可

(2) 他薦

「ジェネレーションアワード部門」の他薦受付のフォームでは主に以下を受付します。

- ・ 推薦する人（あなた）の個人情報の入力
- ・ あなたが推薦する方（被推薦者）の情報の入力
- ・ 推薦する方との関係の入力（600文字以内）

- ・推薦する方に何を期待しているかの入力（600文字以内）

8 選考および結果の開示

(1) 評価選考

業務実施機関による形式確認後、異能(Innovation)プログラムの協力協賛企業による評価と審査を実施する。

(2) 選考結果の開示

公式ホームページにてアワード受賞者の氏名、在住の都道府県及び課題名を開示する。なお、選考に通過しなかった方に対しては特段の連絡を行わない。

9 スケジュール

年	時期	内容
平成29年	5月22日(月)	公募開始 受付期間：5月22日(月) 11:00 ~ 6月30日(金) 18:00
	6月30日(金)	公募終了
	9月頃	各表彰者決定・発表

10 アワード受賞にあたる必須要件

- ・提案の発案者・発案グループであること。
- ・応募内容（追加資料を含む）に関する権利は応募者本人もしくは本人達に属するものとして徹底管理しますが、審査を行う協力協賛企業が提案と類似のアイデアや技術や課題を検討済みであることもあり得るため、提案を絶対秘匿にしたい場合には応募しないこと。
- ・選考プロセスにおいて面接等を実施することとなった場合には、それに参加可能であること。
※ 所要経費は業務実施機関より支弁します。
- ・アワード通過後、本プログラムに係る会合や交流会などに積極的に参加をする意思があること。
- ・企業等の組織に所属する者の場合、アワード受賞の際には所属組織からの承諾書を提出すること。
※ 承諾書の提出に当たり、所属機関との調整が必要な場合には業務実施機関が支援します。
- ・アワード受賞者が未成年者である場合、保護者又は監護者の同意があること。
※ 応募者が希望する場合、同意取得に当たり業務実施機関が支援します。
- ・日本国籍を持つこと（居住地問わず）、もしくは、または応募日からアワード発表日まで日本に居住していること（国籍問わず）。
※ 日本語による事務処理の対応が可能である必要があります（あるいは対応が可能な環境にあること）。

- ・アワード受賞提案が、外国為替および外国貿易法に基づき輸出規制対象になる場合は、選外とする。

1 1 応募に関わる留意・注意事項

(1) 応募内容の独自性について

本プログラムに関わる一切の期間において、他者のアイデアおよび知的財産を盗用すること、侵害することを禁ずる。応募する段階から、他者のアイデアおよび知的財産の盗用・侵害に関して十分に注意を払う必要があることを認識すること。

(2) 不正の取り扱い

不正を行わないこと。本プログラムで言う「不正」とは、一般的な法律や条例内に抵触する行為全般を指す。

(3) プログラム終了後の調査への協力

今後の制度の充実等を図るため、アワード受賞者に対し、表彰後の現況調査等への協力を依頼することがある。

1 2 秘密の保持

(1) アワード通過までの提案内容の秘密保持

「8 (2) 選考結果の開示」の場合と審査に関わる企業への開示を除き、審査にかかる情報を含め、提案に関するその他の情報については、提案者を含め開示しない。

(2) 選考通過者が履行しなければならない秘密保持

本プログラムを通じて提案者が知り得た企業の機密情報を、他に漏洩することや、本プログラム執行の目的の範囲外で利用することは認めない。

1 3 知的財産権の取り扱い

- ・応募内容は協力協賛企業に開示されるため、内容を完全秘匿したい場合には応募はしないこと。
- ・アワードを受けた場合、応募内容は、公式ホームページにて氏名、在住の都道府県と共に開示される。

1 4 本募集に関する連絡先など

株式会社角川アスキー総合研究所「異能(Inno)vation」事務局

電話：03-5840-7629

メールアドレス：info/atmark/inno.go.jp (/atmark/を@に変えてください)

受付時間：月曜日～金曜日（祝日を除く） 10:00～18:00

(参考) 個人情報の取り扱いについて

個人情報とは、住所、氏名、電話番号、e-mailアドレスその他特定の個人として識別することができる情報（他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができることとなるものも含む。）をいいます。

応募の際にご提供いただいた個人情報については、異能(Inno)vationプログラムの業務実施機関を務める株式会社角川アスキー総合研究所の「個人情報保護方針」に従って対応します。

(1) 応募いただいた個人情報の利用目的

- ①選考及び選考通過に関する通知
- ②各種お問い合わせに関する確認、返答のご連絡
- ③本プログラムに関連したイベントがあった際のご連絡

(2) 応募いただいた個人情報の管理について

- ①不正アクセス、紛失、漏洩、改ざんなどを防止するために、厳重なセキュリティ対策を実施します。
- ②個人情報を入力いただく際、データ暗号化技術を利用して通信時の情報保護します。
- ③公募に関して業務実施機関が得た個人情報は、法令の定めのある場合を除いて、提供者の事前の同意なく、予め明示した利用目的以外に使用することはありません。

【個人情報の取扱いに関するご連絡先、苦情・相談窓口】

開示、訂正、利用停止等のお申し出は、下記窓口までご連絡ください。

(社名) 株式会社角川アスキー総合研究所

(住所) 〒113-0024 東京都文京区西片1-17-8

KOYOSHA KSビル2階

(TEL) 03-5840-7800 (FAX) 03-5840-7812

(E-mail) info/atmark/lab-kadokawa.com (/atmark/を@に変えてください)

個人情報管理責任者：吉川栄治

◆業務実施機関の「個人情報保護方針」は下記で公開しています。

URL : <http://www.lab-kadokawa.com/privacy.php>